平和記念だより 96

2025年7月

◆編集・発行/高松市市民局人権・男女共同参画推進課　高松市平和記念館
◆連　絡　先/〒760-0068 高松市松島町一丁目 15 番 1 号　たかまつミライエ 5 階
TEL(087)833-2211　FAX(087)833-2244

高松空襲 80 周年を迎えて

高松市は、1945（昭和 20）年 7 月 4 日未明に米軍の B29 爆撃機による空襲を受け、旧市街の約 80%が焦土と化し、多くの尊い命と財産が失われました。このことは、永久に忘れることのできない、また、忘れてはならないことです。

この高松空襲から、今年は 80 周年の節目の年を迎えます。80 年の時の経過とともに、戦争体験者の高齢化がますます進み、戦争を知らない世代が約 90%を占めるようになりました。このような状況の中、高松空襲などの戦争体験を語り継ぎ、平和を願う市民の心を永久に継承していくことが大切です。そこで高松市平和記念館では、高松空襲展　「熱かった、苦しかったあの日」を 6 月 27 日（金）から 7 月 7 日（月）まで開催いたします。

多くの人命を奪った高松空襲を体験した市民の方の絵画や、焦土と化した高松市街の写真を展示します。また「悲惨な戦争を起こさせないで、平和な世を築いてほしい」という願いから、語り部の方による高松空襲の体験談や平和記念館の職員の話を聞く特別イベントも予定しています。さらに今回は、原爆の怖さを疑似体験してもらえるように、原爆投下前後の広島を VR 体験できるコーナーも設置する予定です。多くの方のご観覧をお待ちしています。

南西方面より高松市役所を望む

高松空襲展　「熱かった、苦しかったあの日」　6 月 27 日（金）～ 7 月 7 日（月）

展示物
- 空襲後の高松市街　（焼け残った木造の国鉄高松駅ほか 10 点）
- 空襲を描いた絵画　（落ちてくる焼夷弾、逃げる人々ほか 8 点）
- 焼夷弾について　（米軍の B29 爆撃経路図ほか 4 点）
- グラマンによる空襲（陸軍林飛行場空襲、女神丸事件 2 点）
- 高松市街の復興　（常盤街の繁栄、昭和 33 年頃の中央通りほか 5 点）
- 高松平和ガイドマップ　1 点

映像資料　DVD「高松空襲 6 人の証言」

VR 体験　「原爆投下前後の広島」

講演　6 月 28 日（土）のみ午前 10 時より約 1 時間
- 「高松空襲の体験」高松空襲語り部部会　池田　實（みのる）さん

平和を語るつどい･憲法記念平和映画祭

令和７年５月１０日(土)、たかまつミライエ１階多目的室において、「平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭」を開催しました。

第一部「平和を語るつどい」は、高松市平和を願う市民団体協議会語り部部会の猪熊アイ子さんによる講演、「空襲で焼け残った建物たちへのレクイエム」でした。焼夷弾の炎や逃げまどう市民の様子など、空襲のすさまじさが語られました。また、猪熊さんは、空襲で焼け残った建物の絵を描かれており、その一つ一つの思い出も語られました。

猪熊アイ子さんの講演

第二部「憲法記念平和映画祭」では、映画「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」を上映しました。太平洋戦争が激しくなり、不利になる戦況を耐えようと陸軍も海軍も人を武器として特攻作戦を実行します。「お国のために、家族のために」と命を投げ出す青年と、タイムスリップした女子高校生が出会う中で、人を想うことや命の大切さについて教えてくれました。

ご多忙の中、ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

参加者の声

■猪熊アイ子さんの語りと絵画の講演は、昨年の高松空襲を語る会の時以来２回目です。何回聞いても胸に響きます。今日の憲法平和映画祭は、たくさんの参加があり、良かったです。

■毎年、この日だけは深く平和について考えられるので、この機会があることがありがたいです。戦争とはどういう事かが、どの世代にも響く映画でした。

■戦争の体験などは知っておくべきだと思います。私も 75 歳近くになり、孫やひ孫に平和についての勉強をしてほしいと心より願っています。今、幸せな日本にいることは、先人達の苦労の上にあるということを知るべきだと思います。

▼今後の行事予定▲

7月

- **高松市戦争遺品展**
  期　日　令和７年７月１２日（土）～７月１８日（金）
  場　所　瓦町 FLAG２階　コンコース
  内　容　当館収蔵品等を展示
- **教職員のための平和教育講演会**
  期　日　令和７年７月３１日（木）
  場　所　たかまつミライエ　会場については未定
  内　容　講演(内容未定)と「平和学習」の説明

7,8月

- **原爆展**
  期　日　令和７年７月 24 日（木）～８月１５日（金）
  場　所　瓦町 FLAG８階　瓦町アートステーション
  内　容　原爆関連資料の展示と原爆体験者の講演

証言 高松空襲

あの日わたしは

証言⑬　佐々木熙子（ひろこ）さん

毎夜のように警報が出ていたので、その夜も服を着たまま仮眠していた。突然、お腹の底に響くような B29 の不気味な爆音がして、「シュルシュルシュル」と金属的な摩擦音とともに、南東方に青白い光が見えた。「近い。」と思い、壕を出ると東の空が赤くなり、また続いて西方から爆音が襲ってきて、Ｂ２９が焼夷弾を投下して東へ去っていくのが見えた。みるみるうちに東の方から燃えて、空が真っ赤に広がった。火が近づいてきたので、母が「お家にさよならしましょう。」と言い、みんなで家に別れを告げて門を出た。その時、初めて辺り一面が火の海であることが分かった。

証言者プロフィール

- ■当時　女学校４年生
- ■住所　古馬場町
- ■家族　６人
  - 父母
  - 子ども４人
- ■家業　父が高松市長
- ■旧姓　鈴木

「あの日わたしは　高松空襲～当時を伝える証言者の声～」(高松空襲を子どもたちに伝える会)証言映像より編集

平和映画☆上映会のお知らせ

平和記念館映像学習室において、次のとおり平和映画を上映します(無料)。

7月の上映　**「おこりじぞう」**（28 分）

日　時▶　開館日の土・日・祝日、午後１時～　※7 月 12 日(土)から

解　説▶　昭和 20 年広島、ひろちゃんは「わらいじぞう」とよばれるお地蔵さんが大好きだった。８月６日、朝８時 15 分、光や音とともにものすごい大爆発が起こった。大やけどをおったひろちゃんが水を欲しがったその時、怒った顔にかわったお地蔵さんの目から涙がこぼれ落ちた。

8月の上映　**「いわたくんちのおばあちゃん」**（20 分）

日　時▶　開館日の土・日・祝日、午後１時～

解　説▶　寛太の友達、いわたくんのおばあちゃんには、同じ写真に写った自分以外の家族が、広島の原爆で命を落としたという経験がある。おばあちゃんのつらい思いを知った寛太は、原爆や戦争のことを自分のことのようにとらえ、平和を願う気持ちを強くする。実話をもとにした短編アニメーション。

9月の上映　**「一つの花」**（23 分）

日　時▶　開館日の土・日・祝日、午後１時～

解　説▶　「一つだけちょうだい。おにぎりちょうだい。」ねだって泣き続けるゆみ子に、戦場に向かうお父さんは駅に咲くコスモスの花を一本とって「さあ。一つだけあげよう。一つだけの花、大事にするんだよ。」と言って列車に乗る。懸命に生きようとした家族の姿を描くアニメーション。

※　都合により、上映作品・期間等を変更することがあります。

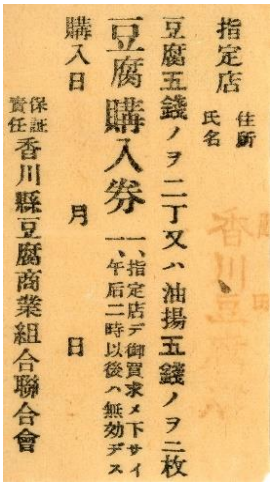
収蔵品紹介 86

豆腐購入券（とうふこうにゅうけん）

寄贈者　鳴海　安義　様

配給統制時代の生活必需品の購入切符の典型的なもの。「指定店での購入のこと　購入日　○月△日午後２時以降は無効　保証責任香川県豆腐商業組合連合会」と書かれてある。この券とお金を持って指定店へ行き、豆腐５銭のものを２丁、または油揚げ５銭のものを２枚買うことができた。

しかし、戦争が激しくなるにつれ、物資不足も目立ち、配給の実態は悲惨なものになった。切符があっても豆腐だけでなく醤油（しょうゆ）や味噌などの調味料でさえ入荷せず、なかなか手に入らなくなった。



（実物大）

平和記念館常設展示コーナーに展示中

参考：「親子で語る高松平和ガイドブック」
発行　高松市平和を願う市民団体協議会

戦時用語解説 78

四式肉薄攻撃艇（マルレ艇）

【読み】よんしきにくはくこうげきてい

【分類】海上突撃艇

第十陸軍技術研究所が開発したベニヤ板製の２人乗り小型ボート。エンジンは自動車用のエンジンを転用し、操舵する座席のすぐ後ろに 250 kgの機雷を積み、敵船近くでその機雷を投下した後、Uターンするという攻撃艇であった。しかし、戦局が悪化してくると機雷を積んだまま敵船に突撃する特攻艇と変貌した。

訓練基地は、入り江が多く訓練に適していたこと、島のため機密が保持しやすかったことから、小豆島の淵崎（ふちざき）村（現土庄町渕崎）が選ばれた。全国から集められた訓練生たちは「若潮（わかしお）部隊」と呼ばれ、激戦となったフィリピンや沖縄へ出撃し、その大半が戦死している。

参考：「戦跡を歩く香川県」
発行　香川県高等学校教職員組合
「特別攻撃隊　日本の戦史別巻４」
発行　毎日新聞社

編集メモ

今年度も平和記念館の平和学習がスタートし、８０年前の高松空襲で校舎が全焼した学校の児童も来館予定です。外国の戦争や侵攻をニュースで見聞きしていても、どこか違う世界のことと捉えている子どもが多い中、自分が通っている学校がかつて空襲で燃えたこと、空襲には遭わなかったけれど、自分たちの校区に大阪市の児童が集団疎開していたことなどを知ることで、少しずつ当時のことを実感できると考えます。本館の平和学習を契機とし、学校での歴史学習に関心が高まり、平和を続けていくことの大切さを真剣に考える子どもたちが育って欲しいと思います。

たかまつミライエ

高松市平和記念館（たかまつミライエ５階）

開館時間：午前９時～午後５時（入館は午後４時 30 分まで）
休 館 日：火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始12/29~1/3
入 館 料：無料
▼ホームページアドレス（平和啓発の推進事業がご覧いただけます）　▲QR コード
http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/jinken/keihatsu/heiwa/index.html

▶次回 97 号発行は、2025 年 10 月です。